



お子さまの近視について

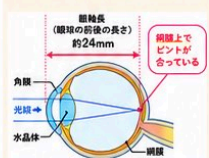
～近視は「見えにくいだけ」の病気ではありません～



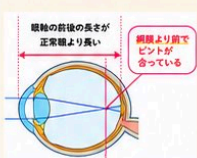
近視とは？

近視とは、眼球が後ろに長くなることで遠くがぼやけて見える状態です。

正常(正常な目)



近視の目



メガネやコンタクトレンズで見え方を改善することはできますが、**伸びた眼球を元の長さに戻すことはできません。**

なぜ近視が問題なのでしょう？

近視が進むほど眼球はさらに長くなります。



眼球が伸びると、目の奥にある大切な組織(網膜や視神経)に負担がかかり、**将来さまざまな目の病気が起こりやすくなります。**

近視は単なる視力の問題ではなく、**将来の目の健康に関わる病気**として考えられています。

大切なのは、裸眼視力よりも「近視の進行の程度(屈折値)」です

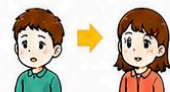
見え方の良し悪し(裸眼視力)よりも、近視の「強さ(屈折値)」が将来のリスクに関係します。

同じ視力でも、屈折値が強いほど眼球が長く、将来の病気リスクが高まります。

お子さまの目を守るためには、定期的に眼科で「屈折値」を測定し、経過をチェックすることがとても大切です。

屈折値が強いほど、将来のリスクが高くなります

-0.50D -5.00D



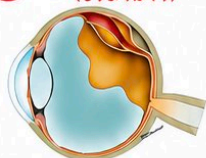
屈折値が強いほど、眼球の長さが長くなります



強い近視になると増える病気

近視が強くなると、以下の病気になるリスクが高まります。

1 網膜剥離 (もうまくはくり)



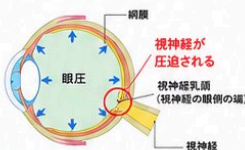
こんな症状が出ます

- ・飛蚊症(黒い点や糸が見える)
- ・光がピカッと見える
- ・視野が欠ける

放置すると失明につながる可能性があります。



2 緑内障 (りょくないしょう)



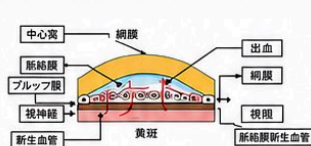
こんな症状が出ます

- ・初期には自覚症状がほとんどありません
- ・進行すると見える範囲が徐々に狭くなります

失われた視野は元に戻りません。



3 近視性黄斑症 (きんせいおうはんしょう)



こんな症状が出ます

- ・文字が読みにくい
- ・人の顔が見えにくい
- ・物がゆがんで見える

重症化すると視力が大きく低下します。



近視は世界的な健康問題です

子どもの近視は世界中で増えています。近視になる年齢が早いほど、将来強い近視になる可能性が高くなります。そのため現在は、「見えるようにすること」だけでなく、「近視の進行を抑えること」が重要と考えられています。



当院で行っている近視治療

お子さまの目の健康を守るため、近視の進行を抑える治療を行っています。

低濃度アトロピン治療

近視の進行を抑える点眼治療です。

サプリメントのご案内

目の健康をサポートするサプリメントのご案内をしています。

生活習慣の改善サポート

お子さまの生活習慣を見直し、近視の進行を予防します。

近視進行抑制メガネの処方
必要に応じて、近視の進行を抑える設計のメガネをご提案・処方します。

お子さま一人ひとりに合わせた治療を行っています。

近視は、早く気づいて、きちんと管理することで、将来の大切な「見える力」を守ることができます。